

令和元年度

第5回 区民参画組織 麻布を語る会 麻布地区政策分科会 次 第

日時：令和元年9月12日（木）
午後6時30分～午後8時30分
場所：麻布地区総合支所 2階
第3会議室

- 1 開会
- 2 提言作成に向けたスケジュールについて
- 3 グループ討議（地域事業の評価及び検証）
- 4 全体討議（グループ討議の報告及び意見交換）
- 5 その他

【配布資料】

- 資料 1 提言作成に向けたスケジュール（案）
- 資料 2 地域事業活性化シート
- 参考資料 各地域事業についての主な意見

提言作成に向けたスケジュール（案）

■第4回（令和元年8月28日（水））

主な内容 ・各地域事業の課題・提言作成に向けた方向性のまとめ

■リーダー・サブリーダー打合せ（令和元年9月5日（木））

内容 提言作成に向けたスケジュールと方向性についての意見交換

■第5回（令和元年9月12日（木））

達成目標 提言作成に向けた進め方の確認、提言内容の方向性についてイメージ共有

主な内容 ・地域事業活性化シートの説明及び事業の「評価」「検証」を行う

■第6回（令和元年10月11日（金））

達成目標 各地域事業の改善点等についてのまとめ

主な内容 ・事業の「提案」を行う
（各分野の進捗によって、引き続き「評価」「検証」を行う）

■第7回（令和元年11月12日（火））

達成目標 提言作成に向けた事業の改善提案等のまとめ

主な内容 ・事業の「提案」を行う
・提言作成に向けた提言書のイメージ共有

■第8回（令和元年12月11日（水））

達成目標 各分野での提言内容のまとめと確認

主な内容 ・事業の「提案」及び各分野の提案の取りまとめ
・各分野の提案内容について全体での共有と意見交換

■座長・副座長・リーダー・サブリーダー打合せ（令和元年12月中旬～下旬）

内容 提言書のまとめに向けた意見交換

■第9回（令和2年1月30日（木））

主な内容 ・提言書の確認、提言式（提言内容）について等

■座長・副座長・リーダー・サブリーダー打合せ（令和2年2月中旬）

内容 提言書の最終確認

■提言式（令和2年3月下旬）

内容 区長に提言書を提出

地域事業活性化シート

提言作成に向けて、各グループでの検討作業に用いる資料を「地域事業活性化シート」として仮作成しました。

今後の検討は、各グループに各事業1枚ずつ配布される「地域事業活性化シート」の項目を埋めていくかたちで進めてください。なお、事業によっては埋められない項目があるかと思えますので、柔軟に対応してください。

分野	事業名	所管課
分野Ⅰ かがやくまち (防犯・生活安全)	六本木安全安心プロジェクト ～ルールー違反ゼロの六本木へ～	協働推進課
分野Ⅰ かがやくまち (防災)	「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～	協働推進課
分野Ⅰ かがやくまち (環境・エコ)	みんなでエコっとプロジェクト	まちづくり課
分野Ⅱ にぎわうまち (コミュニティ)	みんなでまちをよくする「ミナヨク」	協働推進課
分野Ⅱ にぎわうまち (多文化交流・コミュニティ)	AZABU WORLD FESTA	協働推進課
分野Ⅱ にぎわうまち (歴史・文化)	麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～	協働推進課
分野Ⅲ はぐくむまち (コミュニティ)	地方交流事業	管理課 協働推進課
分野Ⅲ はぐくむまち (高齢者支援)	地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～	区民課
分野Ⅲ はぐくむまち (生涯学習・歴史・文化)	麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～	協働推進課

■分野 I かがやくまち（防犯・生活安全） 地域事業名：六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～（所管課：協働推進課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。	1	・	3	・	5
・ ルール違反に対して、注意する権限を持っているわけではないので、取組に限界がある。					
目的を達成するための事業計画になっていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	1	・	3	・	5
・ 憲章デザインを活用し、キャンペーンに着用するベストや周知のためのフラッグなどに用いている。					
事業の効果は見られますか。	1	・	3	・	5
・ 賛同事業所は増加しているが、そのことが知られておらず、もっとアピールすべき。 ・ 継続していくことで効果を上げていくことが大切。					
麻布地区にふさわしい事業ですか。	1	・	3	・	5
・ 六本木という繁華街を有する麻布地区において、まちの安全・安心を保つために必要な活動と考える。 ・ 六本木地区に限らず、麻布地区全体に浸透させていくべき。					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
・ 憲章デザインの効果を検証すべき。 ・ 効果を上げていくためには、賛同事業所へのインセンティブが必要ではないか。 ・ キャンペーンなど、参加者が限定されているところがある。 ・ 新たな住民や事業者など、参加者のすそ野を広げていくような取り組みが必要。 ・ 外国人や区外からの来街者に対してどのように周知していくかが課題。 ・ 自転車の危険走行などにも対応していくべき。					

2. 検証

■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入） ・ 課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等
【評価できる点】
【改善すべき点・さらに力を入れていくべき点】

3. 提案

見直しを必要とする理由
・ 現状や将来の見通し ・ 解決しようとしている課題の認識 ・ 区民のニーズ等、事業の必要性 ・ 何のために事業を実施するのか等の目的
事業の改善提案
■ ・ ・ ・
改善提案によって期待される効果と課題
【期待される評価】
【想定される課題】

■分野 I かがやくまち（防犯・生活安全） 地域事業名：「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～

（所管課：協働推進課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。 ・麻布地区の防災として何をやるべきか。	1	・	3	・	5
目的を達成するための事業計画になっていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・ネットワークを小規模化し、モデル地区を設定した。	1	・	3	・	5
事業の効果は見られますか。	1	・	3	・	5
麻布地区にふさわしい事業ですか。 ・そもそも事業所の防災を地域事業でやるべきか。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・知らない人が多い ・「地域」の対象がわかりにくい。 ・事業所をどのように参加させるかが課題。 ・リアリティを持って参加できない、現実味がない。	1	・	3	・	5

2. 検証

<p>■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等
【評価できる点】
【改善点すべき点・さらに力を入れていくべき点】

3. 提案

見直しを必要とする理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
事業の改善提案 ■ ・ ・ ・
改善提案によって期待される効果と課題 【期待される評価】 【想定される課題】

■分野Ⅰ かがやくまち（環境・エコ） 地域事業名：みんなでエコっとプロジェクト

（所管課：まちづくり課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。	1	・	3	・	5
目的を達成するための事業計画になっていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・実施回数を年3回から6回に増やした。	1	・	3	・	5
事業の効果は見られますか。 ・実施回数を増加したことにより参加者数は増えている。	1	・	3	・	5
麻布地区にふさわしい事業ですか。 ・参加者は麻布地区に限っていないが、問題ないか。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・参加者の満足度を上げる取組み ・マンネリ化を防ぐ取組み ・学校教育との関係性はどうか。	1	・	3	・	5

2. 検証

<p>■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等
【評価できる点】
【改善点すべき点・さらに力を入れていくべき点】

3. 提案

見直しを必要とする理由
<ul style="list-style-type: none"> ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
事業の改善提案
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
改善提案によって期待される効果と課題
【期待される評価】
【想定される課題】

■分野Ⅱ にぎわうまち（コミュニティ） 地域事業名：みんなでまちをよくする「ミナヨク」

（所管課：協働推進課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> 「次世代のコミュニティリーダー」というのが具体的になんなのかが不明瞭。 					
目的を達成するための事業計画になっていますか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> 					
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> 修了生の地域とのつながりづくりについてのフォローが足りていない。 					
事業の効果は見られますか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> 修了生が実際に地域で活躍しているのかの調査が必要。 講座で提案されたアイデアのうち、どの程度が実際に行われているのか等の検証が必要。 					
麻布地区にふさわしい事業ですか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> 					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> 地域で活躍する人材の育成という点で、達人ラボと似ている点がある。 目的に応じて講座への参加方法や20代から40代という枠については検討が必要。 					

2. 検証

<p>■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等
<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ミナヨク」とおして、地域にはいっていききっかけがつかれるという点は評価できるので、事業としては継続していく方向でいいのではないか。
<p>【改善点すべき点・さらに力を入れていくべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、講座への参加方法（1回限りの参加ではなく、継続して参加できる等）を見直す必要がある。

3. 提案

見直しを必要とする理由
<ul style="list-style-type: none"> 現状や将来の見通し 解決しようとしている課題の認識 区民のニーズ等、事業の必要性 何のために事業を実施するのか等の目的
事業の改善提案
<ul style="list-style-type: none">
改善提案によって期待される効果と課題
【期待される評価】
【想定される課題】

■分野Ⅱ にぎわうまち（多文化交流・コミュニティ） 地域事業名：AZABU WORLD FESTA

（所管課：協働推進課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。 ・「AZABU WORLD FESTA」という名称と内容があていない。	1	・	3	・	5
目的を達成するための事業計画になっていますか。 ・	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・支所で実施しているイベントは単発のものが多く、参加機会がなかなか得られないので、一定期間継続したイベントを実施するという点では反映されている。 ・詳細な内容等については、反映しているとは言えない。	1	・	3	・	5
事業の効果は見られますか ・	1	・	3	・	5
麻布地区にふさわしい事業ですか。 ・港区ワールドフェスティバル等、支援部で実施しているイベントとネーミング的にも違いが分からない。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・外国人等を含む、これまで地域とのふれあいがなかった人の参加ができているのか分からない。	1	・	3	・	5

2. 検証

<p>■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等 <p>【評価できる点】</p> <p>【改善点すべき点・さらに力を入れていくべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部内容が地方交流事業で実施すべき内容になっているので、切り離すべき。 ・事業実施から2年目ということで、事業内容については、日本の文化・外国の文化等を活用した取組に再構築していくことが望ましい。
--

3. 提案

見直しを必要とする理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
事業の改善提案 ■ ・ ・ ・
改善提案によって期待される効果と課題 【期待される評価】 【想定される課題】

■分野Ⅱ にぎわうまち（歴史・文化） 地域事業名：麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～

（所管課：協働推進課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。 ・ おおよそなっている。	1	・	3	・	5
目的を達成するための事業計画になっていますか。 ・	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・ 新たな取組としてARを活用した発信等は実施。 ・ これまで作成したパネル等成果物の活用については、新たなアイデア等が必要。	1	・	3	・	5
事業の効果は見られますか	1	・	3	・	5
麻布地区にふさわしい事業ですか。 ・ 全庁的に写真等のアーカイブ化が進んでいる。また、他地区でも同様の地域事業が実施されている。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・ これまで作成したパネル等の成果物の活用。	1	・	3	・	5

2. 検証

■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入） ・ 課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等
【評価できる点】
【改善点すべき点・さらに力を入れていくべき点】

3. 提案

見直しを必要とする理由 ・ 現状や将来の見通し ・ 解決しようとしている課題の認識 ・ 区民のニーズ等、事業の必要性 ・ 何のために事業を実施するのか等の目的
事業の改善提案 ■パネル+ガイド ・ 地区内のガイドが、麻布未来写真館で作成したパネルや古い写真等を活用できる方策を検討する。 ・ パネル展などにあたって、パネルの説明をするガイドを付けたほうが分かりやすい。
■これまで作成したパネルの活用 ・ 公共交通施設（地下鉄駅など）での展示の検討。
改善提案によって期待される効果と課題 【期待される評価】
【想定される課題】

■分野Ⅲ はぐくむまち（コミュニティ） 地域事業名：地方交流事業

（所管課：管理課・協働推進課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。	1	・	3	・	5
目的を達成するための事業計画になっていますか。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> ・舟形町の魅力PRイベントで舟形町の中学生が港区へ。「郷土 Yamagata ふるさと探求コンテスト」で、最優秀賞「ふるさと探求大賞」を受賞 ・埼玉県小鹿野町との交流を開始 					
事業の効果は見られますか	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者のアンケートからしっかりとフィードバックを得ることが必要。 					
麻布地区にふさわしい事業ですか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターが多いのではないか、区外の参加者がいるのではないかという指摘があったが、現在は麻布地区での公開抽選を行っている。 					
事業の課題は何ですか。	1	・	3	・	5
<ul style="list-style-type: none"> ・麻布地区外の学校へ通っているとこのイベントを知らない。 ・麻布地区内の魅力を掘り起こす事も必要。 					

2. 検証

<p>■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等
【評価できる点】
【改善点すべき点・さらに力を入れていくべき点】

3. 提案

見直しを必要とする理由
<ul style="list-style-type: none"> ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
事業の改善提案
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
改善提案によって期待される効果と課題
【期待される評価】
【想定される課題】

■分野Ⅲ はぐくむまち（高齢者支援） 地域事業名：地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～

（所管課：区民課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。 ・「場」があるというのはいい事。更なる定着を	1	・	3	・	5
目的を達成するための事業計画になっていますか。 ・目的を次のフェーズに。→数値目標等が必要か？	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・麻布未来写真館との連携イベントを実施	1	・	3	・	5
事業の効果は見られますか ・事業者が継続的の運営をしている事で、過去の状況の蓄積ができ、「高齢者の見守り」につながっている	1	・	3	・	5
麻布地区にふさわしい事業ですか。 ・地区の障害児施設等と連携ができるのではないか。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・7割がリピーター ・男女比が1：9 ・「出てこない人」へのアプローチをどうするか	1	・	3	・	5

2. 検証

<p>■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等
【評価できる点】
【改善点すべき点・さらに力を入れていくべき点】

・「歴史」に関わることには男性参加者が増える。図書館には男性はよく行く

3. 提案

見直しを必要とする理由 ・現状や将来の見通し ・解決しようとしている課題の認識 ・区民のニーズ等、事業の必要性 ・何のために事業を実施するのか等の目的
事業の改善提案 ■ ・ ・ ・
改善提案によって期待される効果と課題 【期待される評価】 【想定される課題】

■分野Ⅲ はぐくむまち（生涯学習・歴史・文化） 地域事業名：麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～

（所管課：協働推進課）

1. 評価

目的にあった活動内容になっていますか。	1	・	3	・	5
目的を達成するための事業計画になっていますか。 ・まち歩きが平日の昼間だと、若い人は参加しづらい。	1	・	3	・	5
前回の提言（提案）は計画に反映されていますか。 ・まち歩きの回数を増やした。	1	・	3	・	5
事業の効果は見られますか ・資料などはとてもよくできている。 ・まち歩きはいつも満席	1	・	3	・	5
麻布地区にふさわしい事業ですか。 ・地区の学校との連携を。地元地域の研究をする課題があるので、紐付けられるのではないかな。 ・ちょっと立ち寄りカフェとも連携できるのではないかな。	1	・	3	・	5
事業の課題は何ですか。 ・ラボメンバーの高齢化。若い世代のラボメンバーを増やす事が課題 ・活動内容の蓄積とアウトプット。せっかくいいコンテンツがあるのにうまく活用できていない。 ・属人化している感がある	1	・	3	・	5

2. 検証

■（どのような改善が必要か以下の例を参考に記入）

- ・課題等についての改善が必要／事業のコンテンツについて新たなアイデアが必要／事業名称も含め、新たな事業としての構築が必要 等

【評価できる点】

【改善点すべき点・さらに力を入れていくべき点】

・「ミナヨク」と似ているところは連携ができる部分があるのではないかな。

3. 提案

見直しを必要とする理由

- ・現状や将来の見通し
- ・解決しようとしている課題の認識
- ・区民のニーズ等、事業の必要性
- ・何のために事業を実施するのか等の目的

事業の改善提案

■

- ・
- ・
- ・

改善提案によって期待される効果と課題

【期待される評価】

【想定される課題】

各地域事業についての主な意見

(第2～4回分科会の全体討議での各グループ発表の概要)

【分野Ⅰ かがやくまち】

- ・主に「六本木安全安心プロジェクト」について課題があがった。
- ・生活安全だけでなく、防災についても、様々な課題があり、その課題をどのように周知していくのが非常に難しい。周知というときに、誰をターゲットにしていくのかをはっきりさせないといけない。
- ・支援部での取組と重複しない、麻布地区独自でやっていけることを認識して、それらの点について取り組んでいくべき。

■六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～

- ・六本木なので客引きとかお店の看板で通行や自転車が危ないという問題。あと喫煙によるポイ捨て、外国人や日本人、区外の方が多いので、そういった方々に「六本木安全安心プロジェクト」の取組をどのように周知させるのかというのが非常に難しいというのが課題。
- ・六本木地区における課題のうち、自転車に関する課題についての意見が多く出た。自転車の危険走行についても課題として認識し、対応を考えるべきではないか。
- ・まちのルールとして「六本木安全安心憲章」はあるが、注意や指導をする権限というのが誰にでもあるわけではない。ルール違反を誰が注意するのかという課題もある。
- ・全庁的な取組として「みなとタバコルール」があり、「六本木安全安心憲章」でも路上喫煙の禁止をうたっている。支援部での取組と重複している部分について、どのように推進していくのか、その関係性等を整理していく必要がある。
- ・「六本木安全安心憲章」をより一層、地域に浸透させていくためには、現状使用している「ルール違反ゼロの六本木へ。」のマークとロゴではもの足りなさを感じる。

■「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～

- ・企業と地域との連携をどのように進めていくのかということが疑問であり、課題でもある。
- ・防災について、年に一回、六本木中学校で総合防災訓練があるが、それを知らない人が多い。地域のためにもとても大切なことだという周知が大切。
- ・「防災」というテーマについては、色々な課題もあり検討するのが難しい。この事業のほかにも総合防災訓練が行われたりしているが、他の防災対策に変更して必要があるのではないか。

■みんなでエコっとプロジェクト

- ・どのような取組をしているのか、文章・口頭の説明だけではイメージがわからないので、実際に見学に行く、参加する、または事業の実施状況についての動画を見せてもらうと分かりやすい。
- ・エコに対する取組が、学校教育のカリキュラムにあるのであれば重複した取組を行う必要はないと思う。もし、ないのであれば、まだまだ残っている麻布の自然を活用して、身近なところで自然を体験してもらうという取組をすれば、もっと負担が少なくできるのではないか。
- ・イベント内容について、エコとリサイクルを組み合わせた取組、特にリサイクルの一環として取り組むイベント等について検討していく必要がある。
- ・例えば、六本木のごみ問題等、地域をフィールドにした「環境・エコ」の取組を行ってもいいのではないか。

【分野Ⅱ にぎわうまち】

- ・「にぎわうまち」というキーワードに関する魅力として、大使館が多くグローバルなイメージ、麻布十番商店街を中心に活気があり、おいしいお店も多い、高級感と下町のギャップ、歴史・文化の街等があげられた。
- ・地域事業等についての情報発信が課題である一方、民間でも様々なイベントが行われている麻布地区では情報が多すぎて、その取捨選択をするのも難しく、情報の整理も必要になる。
- ・東洋英和等の学生のパワーも地域の資源として活用していけないだろうか。
- ・犬などのペットを連れて散歩をしている人が多い、ペットとまちと人が触れ合う、そんな機会を創出できると良い。
- ・地域を代表する資源でもある有栖川宮記念公園を大切にしていける、例えば環境美化・清掃活動等と組み合わせたイベントを実施する等、より良いまちづくりに向けた楽しいイベントがあればよい。

■ミナヨク

- ・次世代リーダーの育成が目的となっているが、その部分ができているのかどうか課題。
- ・目的を達成しているかの検証を行う必要がある。例えば修了生を対象としたアンケート等。
- ・開催日時について調整行い、土曜日の午後開催となっているが、20代から40代の方には厳しい時間帯かと思う。
- ・1クールのみでの参加、リピートして参加できないというなかで、6回のプログラムで良い提案をつくり上げる、次世代リーダーを育成するというは難しいのではないか。
- ・修了後の活動等についていろいろな課題がある（修了生がその後、どのような活動をしているのか等の情報を区がしっかり把握する必要がある）。
- ・目的に対しての課題はあるが、事業としては継続の方向でいいのではないか。

■AZABU WORLD FESTA

- ・分科会での提案をもとに実施されている事業だが、思っていたものと相違がある。
- ・これまで実施していた単発のイベントではなく、一定期間開催し、たくさんの人を呼び込める取組という部分は良いと思う。
- ・平成30年度に試行実施したスタンプラリーについては、事業名称ともしっかりこないうえ、協力してくれる店舗側にデメリットが多くあるようなので、別の方向性を検討すべきではないか。
- ・日本の文化（麻布にまつわる落語等）と外国の文化を組み込んだイベントづくりを検討してみてもどうか。
- ・小鹿野町との交流は、「地方交流事業」として扱うべき。

■麻布未来写真館

- ・事業開始から長期にわたり継続しており、事業の目的とも合致した取組になっている。
- ・常設展示も企画展示も実際にパネル展を開催している期間に、その場所にはいかないとみることができないという課題がある。その課題を解消するためにデジタル化とWeb上での公開をより進めていくべきだと思う。
- ・展示されているパネルの説明だけでは分からないことが多いので、ガイドを付けて見ることができると良い。または、ガイドの方が麻布未来写真館のパネルを活用できるようにしたら良いと思う。
- ・テーマやコンセプトを前面に打ち出したパネル展やパネル作成を行うことで、面白味が増すのではないか。
- ・集客や周知を考えるのであれば、六本木ヒルズなど人が多く集まる場所をパネル展の会場として検討してはどうか。人が多く集まる場所で、しっかりと集客することによって「麻布未来写真館」の良いところを伝えられるのではないか。
- ・SNSでハッシュタグ付きの投稿をする人が多いので、それをうまく活用して、参加型のパネル展等を実施したら楽しいイベントになるのではないか。
- ・企業へのパネルの貸出しや鉄道駅等への掲出を検討してみてもどうか。

【分野Ⅲ はぐくむまち】

- ・年代別に分けた取組になってしまっているのが、多世代にわたる事業を創出したほうが刺激的で良いと思う。
- ・「はぐくむまち」のテーマでもある「福祉」について、高齢者だけではなく、障害者の視点も意識して検討したい。
- ・どの事業についても、今後も継続していいと思うが、+αの提案をしたいという意見が出た。

■地方交流事業

- ・参加している子どもたちを中心に良い感想があげられているので、取組の方向性、考え方としてはいいと思う。
- ・区民アンケートによる評価ではなく、この事業の対象者に対するアンケートを行うことにより、しっかりとしたフィードバックを得ることが必要。
- ・サマースクールについては、区が全額負担する部分ではないということで、事業費の内訳を合わせて説明していただきたいと思う。
- ・以前は、リピーターが多いのではないかと、区外の方が参加しているのではないかと指摘が出ていたようだが、現在は麻布地区での募集、公開抽選を行い、参加者を決定しているので改善されているのではないかと。
- ・小鹿野町との交流事業の事業費については、現状「AZABU WORLD FESTA」に計上されているとのことで、その部分については整理が必要。

■地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～

- ・麻布地区にある4か所のいきいきプラザで開催している「ちょこっと立ち寄りカフェ」の参加者の約7割がリピーターということで、もっと参加者を増やしていきたい。
- ・参加者の男女比が1:9という状況にある。男性の参加を増やす工夫をすることで、雰囲気も変わってくるのではないかと。「麻布の魅力探訪事業」で扱っている歴史や地図等テーマは男性が好むものなので、バランスを考えたテーマを盛り込むことで男女比の課題が解消される可能性があるのではないかと。あわせて、「ちょこっと立ち寄りカフェ」と「あざぶ達人ラボ」がより一層連携できるのではないかとという意見も出た。
- ・NPO法人が継続的に運営を受託している良い面として、過去の状況等をしっかり把握できている。また、高齢者福祉を意識したNPO法人を受託しているという面は良い。一方、新しいアイデアが生まれてこないという弊害もあるかと思うので、この分科会で新しいアイデアを提案できたらいいと思う。
- ・高齢者だけを対象にするのではなく、障害者等も含めた取組、共生やバリアフリーの視点を意識した取組の推進は、この事業で対応できる課題だと思うので、ぜひ実現させたい。

■麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～

- ・実際に活動をしているのを見て、参加者の熱意も感じ、取組自体はいいと感じた。
- ・麻布の魅力を探訪する活動（まち歩き等）が平日の昼間ということだと、若い人はまず参加できない。せっかく良いコンテンツがあるのに、うまく使うことができていない。
- ・「ラボ」については、「ミナヨク」と似たようなところがあるので、連携が出来る部分があるのではないかと。
- ・この事業でつくり上げたアウトプットとして「マップ」等があるが、それが全く生かされていないように思う。例えば、学校の授業で地元の歴史や地域に関する自由研究を行ってみましょうという課題があるので、それと紐づければ自然と魅力を若いうちから勉強する機会に繋がっていくのではないかと。